



26号 2007年12月25日
発行 相原まちづくり協議会
責任者 理事長 杉崎大吉
所在地 町田市相原町798-1
電話 042(774)8005

まちづくり講演会を開催

相原まちづくり協議会は第10回まちづくり講演会を11月23日に堺市民センターで行いました。テーマは「相原・福祉のまちづくり～子供から高齢者まで住み良いまちづくり」です。講師は地元の大学である東京家政学院大学の田中清章・教授(副学長)、増田勝・非常勤講師(都市計画センター理事)です。

小さいことから皆で取り組もう

田中清章・教授(副学長)の講演内容



まちづくりとは何か、明確な定義がありません。狭義なまちづくりから、大きなまちづくりまで、さまざまです。現在のまちづくりは、市民参加など住民の意見が重要になっています。まちづくりは住民主体か、または、行政と住民の協同によるものです。地域福祉とは地域のみならず、みんなで支え合うまちづくりです。これまでは行政、企業が主体

になった施設づくりでしたが、今後は方向転換をしなければなりません。全国的に高齢化が進んでいます。65歳以上の割合は全国で2005年20.4%ですが、2025年は30%になります。町田市でみると2007年で19.17%です。相原町の人口は2000年が1万5315人、65歳以上が1932人、2007年が1万5220人、高齢者は2902人です。相原は全国と比較すれば高齢化率は低いです。1997年11.27%だったから毎年1%増えていることになりました。来年度は3000人越えるのではないかとみられています。健康な高齢者はなんらかの形で働くか、ボランティアの活動などをすることが望まれます。

地域福祉は小さいところから取り組む必要があります。例えば、歩道の縁石について警察省令では15センチ以上となっていますが、八王子に比べ相原町の歩道は車を重視して、歩道が傾斜になるなど歩行者が不便になっています。住民運動として改善させるのも1つの方法です。

キャンパスを解放しています

また、相原の皆さんは東京家政学院大学を活用して下さい。キャンパスには1400人席のホールがありますので、使して下さい。テニスコートも今年から開放しています。食堂は500席のものが2つあります。子供たちも連れてきて食べてみて下さい。図書館も来

年には開放の予定です。大学は100数人の先生がいます。聞きたいことがあったら、尋ねて下さい。例えば歴史に詳しい先生もいます。大学は地域に開放しています。

新しい街を作る意気込みが大切

増田勝・非常勤講師の講演内容

私は10数年前から相原に来ていますが、最初の相原の感想は自然が残っているというものでした。環境が変わらなくて良いと思いました。ここで福祉のまちづくりとは、どういうことか。今住んでいる人が心穏やかに幸せに健康で過ごせる街になれば良いではないかと思えます。つまり弱者にやさしい



助け合い、見守り合い、支えあい バリアフリー 人にやさしいまちづくり 環境にやさしいことです。相原はそれができる街です。相原はどんなところと云われ、浮かぶのは、JR相原駅です。また町田街道沿いの細長い街です。大学の立地もあります。今後の街の変化を予想してまちづくりのビジョンを探すことが必要です。相原のまちづくりに向けて2つの提案をします。1つはハード面です。駅を中心に歩けるまちづくりです。鉄道、バス、タクシーの結節点を核としたコンパクトなまちづくりです。まちの個性を大切に、橋本、みなみ野とは違うまちづくりです。道路整備に併せた一体的なまちづくりですが、道路、交通網の再編を踏まえた新たな土地利用の検討です。相原の構造を変えるチャンスにすべきです。子育て、高齢化対応施設、健康づくりなどの施設を整備すべきです。新しい街を作る気持ちが必要です。具体的には道路計画、建築協定、地区計画などを複合手法の合わせ技の検討です。2つ目の提案はソフト面で、まちのルール作りです。今まであった街のルールを再整備です。例えばお祭り、助け合い、清掃などです。新しい人が入ってくると継続が難しくなる恐れがあります。こからのルールについて、街並づくり、みどりを守り育てる、心暖まるコミュニティづくりです。

相原まちづくりに向けては、みんなで地域を再点検してみましよう。地域の夢を語り、発見することです。今後の姿を描いて、自ら実践することです。楽しく、知恵を出し、汗を出し、元気を出すことです。

・・・相原地区の下水道工事が始まりまして・・・

当面の対象地区は横浜線の東側です

町田市下水道工事は、いよいよ今年度から相原町地区も対象になりました。2007年度は堺中学周辺です。下水道本管（直径200パイ）を965㍍埋設します。対象面積は4・56㍍です。



その後の計画案は、2008年度が相原坂下交差点北側で下水道本管2000㍍、対象面積は6・67㍍です。2009年度はJ A北側観音堂周辺で下水道本管2540㍍、対象面積6・67㍍。また同年度に相原駅東側で2960㍍、対象面積

11・66㍍です。これに並行して直径800パイの污水管を町田街道に沿って中相原地区まで2008年度に1500㍍を埋設します。

町田市全体の下水道普及率は人口比で82・6%、面積比で57・3%です。下水道の本管は市全体で1万2千キロ必要とされていますが、2006年度現在で1万40キロです。

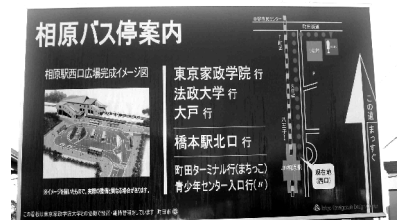
本管工事が終了しますと、各家の近くに「公共汚水ます」を設置します。家庭内の汚水が公共下水道へ流れ込むための入口です。「公共汚水ます」は直径20㍍、深さ1㍍の塩化ビニール製品の円筒形です。場所は道路などから1㍍以内のところに設置します。

家庭で公共下水道を利用する場合は、くみ取り便所や浄化槽からの切り替え工事が必要になります。工事費は平均（2005年度）で組み取り便所の改造で約60万円、浄化槽からの改造工事で33万円前後です。これは個人負担となります。市では建築物1棟につき60万円の限度で、36ヶ月無利子の貸付金制度もあります

・・・駅前西口に案内看板・・・

相原西口に「相原駅案内看板」が11月に設置されました。市の助成で東京家政学院大学が製作したものです。看板は中村地区の相原バス停案内図です。西口で下車した場合、東京家政学院大学、法政大学の学生にバス停がわかりにくいためと、同駅西口を利用するすべての方の利便性の向上を目指すものです。また看板には西口広場の完成予定図も添えられています。市の助成はアダプト・

ア・ロード事業の一つです。事業は市が管理する道路用地などの公共財産を市民団体の手でより良い空間にしようとする制度です。

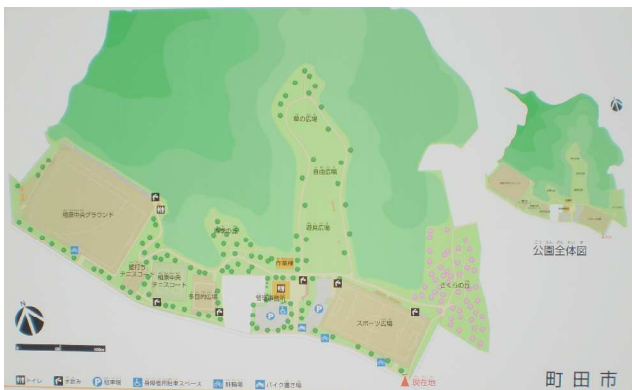


・・・相原中央公園が3月に完成へ・・・

平成16年度より建設が進められている「相原中央公園建設工事」は本年度実施される第4期工事をもって一連の工事が完成いたします。

本年度実施される主な工事は次の通りです。**芝生広場**（芝ステージ、遊具のひろば、草のひろば、人工池）・**四季の丘**（散策路、植栽）**作業棟**・**散策路**・**園内周回道路**（2m幅アスファルト舗装）**炭焼き小屋**・**子どもセンターとの連絡通路**・要望していた**人口池**が芝生広場に設置されることになりました。

これらの工事は、平成20年3月には完成する予定です。4月には町田市主催による竣工記念式典が計画されています。今後「相原中央公園建設促進委員会」では、建設工事の最終段階に向けて引き続き行政側と綿密な連携を保つとともに、竣工記念式典に併せ、市民参加による記念イベントの開催計画を進める予定です。



来春の相原中央公園の完成を記念して相原の皆さんの手作りあじさいの苗の植樹を予定しています。是非ご参加下さい。



「盛況だった相原ふれあいフェスティバル」



「相原ふれあいフェスティバル2007」が相原連合町会主催で10月7日、相原中央公園で開かれました。晴天にめぐまれ多くの市民が参加しました。午前10時から午後4時まで民謡愛好会、大道芸、陽田・中相原・大戸・坂下の囃子保存会、和太鼓雅武者演舞などが演じられました。また、スポーツ系ではストラックアウト・スピーガン・キックターゲット、テニス輪投げ・ターゲットゴルフ・テニスゴルフなど。文化系では歴史ウォーキング・蜂の子を食べてみようなどがありました。また丸太切り・日曜大工・パッチワーク・防災訓練・健康測定・絵手紙なども行われました



真米トンネルに壁画が完成しました

2007年11月、かつて落書きが問題になっていた中相原の真米トンネルに「自然環境に恵まれた相原の風景を描いた素敵な壁画」が完成しました。この壁画の制作活動は、市と地域の大学等で締結した「アダプト・ア・ロード事業」の一つで、東京家政学院大学との協働で実施されたものです。市からはこの活動に対して足場の設置と材料の一部の支給などを支援がありました。この壁画作成に対しては、趣旨に賛同した中相原

町会から塗料の一部の寄付があったほか、中相原地区の子ども会の皆さんが参加して行われました。完成した壁画の原画は、東京家政学院大学学生から応募のあった60点以上の作品の中から選定されたものです。

西側壁面には自然豊かな昔の相原の風景、東側壁面には今の相原の風景が描かれています。(場所は東京家政学院大学から町田街道に抜けるトンネルです) 本文：町田市のホームページ参照



相原住民福祉協議会が発足

今年は介護保険制度が改正され「高齢者の体が不自由になっても、病弱になっても、できるだけ在宅で安心して住み続けられるまち」にすることが決まりました。

このため「地域包括支援センター」が「住民との話し合いの中から」高齢者の生活を見守り支援する拠点となることになりました。

相原地区にも来年4月から中相原地区の「サンシルバー町田地域包括支援センター」ができ、町田市や町田市社会福祉協議会との連携で活動を展開してきましたが、検討を重ねた結果「あいほら住民福祉協議会」として発足し、住民の会を立ち上げることになりました。

高齢者が何を考え、何を望んでいるか 先般、アンケート調査を実施しました。この結果は後日お知らせいたします。現在法政大学<福祉学部>教授を中心に相原地区のサンシルバー町田内に「地域包括支援センター」を作り、活動をしています。現在準備期間として平成20年4月より、規約を作り、各町2名選出。その他賛同者、識者などの会員募集を行う予定です。

相原連合町内会ソフトボール大会

11月18日(日)武蔵岡中学校と大戸小学校のグラウンドで11町会約200名が参加し快晴のなか1日楽しくソフトボールをとおして親睦を深めました。

季節の園芸講習会

花の町推進委員会では、12月23日に堺市民センター中央広場で恒例の『季節の園芸講習会』を実施致しました。今回はクリスマス、お正月に向けて木樽のプランターに季節の葉牡丹を植え込み、ボリューム感を出してみました。



委員会では一緒に活動して下さる新規会員を募っておりますので花に興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。

連絡先は花の町相原推進委員会
委員長小池 博満 Tel 771-3627



相原の文化財シリーズ 大戸観音堂

相原町4641番地

大戸地区にある臨済宗の観音堂です。

本尊は聖観世音菩薩。本堂は「太子堂」の額を掲げた奇棟お堂造りです。

鐘楼は山門と合作の鐘楼門があり、階下が門、階上が鐘楼です。

観音堂には天満宮本殿、内殿があり、境内に銀杏の巨木があります。

